

彩菜栽

2019年
1月

ニラは早めの株分けと更新



肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2〜3年取り続けたら、株が密生気味となり、幅広く厚みのある良い葉が収穫できなく

なってしまう。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。株分けが一番良い時期は、葉が枯れ根株が休眠状態に入っている冬の間に。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治療をしても、傷みが少なく、作業がしやすいからです。株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りにくわスコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範囲に広がっているため、全てを一気に掘り取れないので、中途で縦に切断しても構いません。掘り上げたら土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2〜3本ずつに分割します。これを2〜3個まとめて、0〜2.5mの株間に植え付けます。

植え溝は事前に、8〜10cmぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで平置きするように心掛

けましょう。溝は深めに掘って植えた根株を換気や乾燥から守ってやります。覆土は株の上部がやや出る位にとどめておきやがて新葉が伸びだしてきたら葉先を埋めないように注意しながら2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で通常古株は利用しません。



力を入れて大きく掘り起こす



指先で2〜3本ずつに分割する

